

令和7年6月10日
於：社務所一階齋室

朝 日 神 社 総 代 会

【協議事項】

1、総 会

- イ) 日 時 令和7年6月18日(水) 11時～
- ロ) 場 所 社務所一階齋室
- ハ) 内 容 令和6年度事業報告並びに決算報告について
令和7年度事業計画並びに予算(案)について
- ニ) 出席者 正副会長・代行・専務総代・総代・禰宜
※計24名に案内状手渡し
- ホ) 表彰者 永年奉仕者表彰該当者
鈴木専務総代(針屋町内会)・川村総代(南武平町南部)
◎表彰状・筒・記念品贈呈
- ヘ) 資 料 別紙参照
- ホ) その他 ・総会后、直会(飲食あり)を執り行う。
※神盃にて神酒拝戴(禰宜に合わせて一拝一拍手)
・出席者と欠席者ともに記念品と手土産を手渡す。

2、夏まつり

- イ) 日 時 ・大祓式、児宮社子守社大祭
令和7年7月18日(金) 15時～
・夏越し祓い(茅輪神事・赤丸神事)
令和7年7月18日(金)～19日(土)
17時～19時30分
- ロ) 接 待 稲荷産業まつり同様、境内での飲食を例年通り行う。
- ハ) 内 容 ボールすくい・ラーメン・シュウマイ・アイスクャンディー・
アルコール(缶ビール・酎ハイ・ハイボールなど)・
ソフトドリンク ※昨年同様

ニ) 茅の輪 令和7年7月14日(月) 芦刈取り作業 予定
芦提供先: 熱田神宮・愛知県護國神社 愛西市佐織支部
奉賛会々長 加藤 忠男 氏

ホ) 方 法 昨年同様、鳥居入口で祓い券の有無を確認して、祓い券を
持っている人には芦を必ず渡す。祓い券が無い人には、
芦が無いと輪くぐりができない旨説明をする。

輪くぐりを希望する人については、鳥居入口受付で500円を
納めてもらい、その場で芦を渡し、殿内にて小守も渡す。
輪くぐりを希望せず、朱印やみくじのみ、あるいは参拝のみ
の人は、そのまま境内に入ることは可能とする。
但し、参拝場所は石階下として、階段上がっての参拝は遠慮
して頂き、輪くぐりも禁止とする。

基本的に、芦をもっている人は、祓い券を持っている人か
あるいは鳥居入口受付で500円を納めた人である。
芦をもっている人は、輪くぐりが終わったら、階段上がって
芦を賽銭箱の上に置く。この時に芦をもっている人に対して
小守を手渡す。拝殿前外でお祓いを受けて、殿内にて参拝を
して頂く。

併せて、殿内にて赤丸神事を執り行う。希望者にはお志し
を納めて頂き、子供の頭に赤丸をする。

ハ) その他 ○ボールすくい

名古屋医健スポーツ専門学校の生徒にお手伝いをお願い
する。夏まつり奉仕に伴う生徒派遣の依頼状を持参の上、
楢田先生と面談して、夏まつり奉仕のお願いをした。

- ・両日併せて25名(生徒・先生)の奉仕予定。
- ・ポイ・ビニール袋・スーパーボール・お菓子等は、全て
学校側で準備すること。
- ・生徒はおそろいのポロシャツ着用で奉仕する。
- ・弁当・お茶などを生徒・先生に両日とも提供する。
※ラーメン、シューマイ、飲み物なども提供。

○土用餅

昨年同様に、土用餅を振る舞う。

※糯米 1.4 kg×12 袋・あんこ 6 kg (二日間)

3、献灯会

各町内氏子崇敬者に、献灯会の新規・継続の依頼状を配布する。
各総代からも是非ともお声掛けをして頂きたくお願い申し上げます。
一般参拝者に対しても、看板並びに案内状などを設置して、一燈でも多く
新規獲得に努める。

献燈は、正月・夏まつり・箸感謝祭・広小路夏まつり・例大祭・
節分厄除祭・稻荷産業まつりの計7回夫々神前に飾り点灯奉納する。

4、次回の総代会

令和7年〇月〇〇日 (〇) 〇〇時〇〇分～

8月19日 (水) 13時00分～

5、その他

以 上